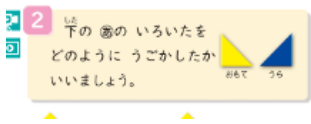

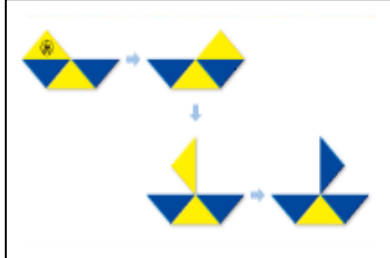
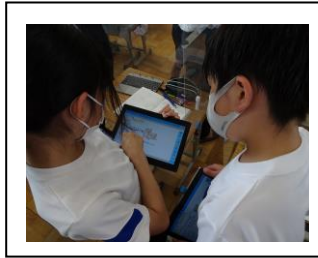




1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算 数	学年	1 年
単元名	かたちづくり		
ねらい	色板の移動についてずらす（平行移動）回す（回転移動）裏返す（対象移動）などの操作に関心を持ち、その特徴を理解する。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等	スカイメニュー 自作のアニメーション（パワーポイント）		

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
つ か む	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>②のいろいたをどのように うごかしたかいいましょ う。</p>  </div> <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>いろいたのうごかしかたをかんがえよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・大型スクリーンに図を提示し、問題を把握しやすくする。
深 め る	<p>3. 個人追究をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>4. ペアで交流し、考えを広げる。</p> <p>5. 全体で交流をする。</p> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">  </div> <p>6. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>ずらす、回す、裏返すを使うと、いろいろな形に動かせる。</p> </div> <p>7. 鉛筆問題に取り組む。</p>	
ま と め る		<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆問題ができた子から、WEBラーニングに取り組む。

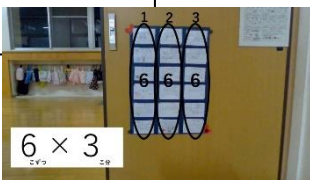
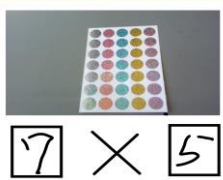
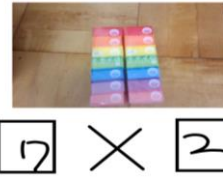
1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算数	学年	1年
単元名	いろいろな かたち		
ねらい	箱や筒などの形に着目した仲間集めの活動を通して、立体の形の特徴をとらえることができる。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等	デジタル教科書 タブレットで撮影した写真		

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
つかむ	1. 前時の学習を振り返る。 2. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> にている かたちを あつめよう </div>	・前時に、いろいろな箱や筒を使って作ったタワーの写真を見ながら、どんな物を使ったかを振り返る。 
深める	3. 具体的な2つの箱を見せて、似ているかを考えさせる。 ティッシュの箱と入浴剤の箱を見せて考える。 色や大きさが違うが、平らで横長だから似ている。 4. 似ている箱や筒を集める。 5. 分かったことや気づいたことを発表する。	
まとめる	6. 仲間分けした形に名前をつけて、まとめる。 7. デジタル教科書を活用して、箱や筒を仲間分けする。 	・具体物でやったことを確認しながら、タブレットでも確かめる。

1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算 数	学年	2年
単元名	かけ算		
ねらい	身の回りの事象や場面の中からか算の式に表せるものを見つけ、式に表すことを通して、かけ算の「1つ分×いくつつ」の見方・考え方を自ら使うことができる。		
活用した ICT 機器・タブレット	発表ノート 自作のアニメーション (パワーポイント)		

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
<p>つかむ</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> みのまわりから かけ算のしきになるものをさがして、カードに書きましょう。 </div>  <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> かけ算のしきになるばめんを さがそう。 </div> <p>3. 個人追究をする。(↓実際の児童の発表ノート)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="background-color: yellow; margin-bottom: 5px;">かけ算でかぞえてみたいな</p>  <p>7×5</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="background-color: yellow; margin-bottom: 5px;">かけ算でかぞえてみたいな</p>  <p>7×2</p> </div> </div> <p>4. ペアで交流し、考えを広げる。</p> <p>5. 全体で交流をする。</p> <p>6. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> みのまわりには、かけ算のしきになるばめんのものがたくさんある。1つ分の大きさ×いくつつ分の見方をするとすぐにさがすことができる。 </div> <p>7. 鉛筆問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 大型スクリーンに図を提示し、問題を把握しやすくする。 • 発表ノートを1人に1人に配付し、かけ算の場面になる写真を取り、式を書く。 • タブレットを示しながら自分の見つけたかけ算の場面をペアに説明する。 • 提出した発表ノートを前のスクリーンに投影し、共有する。 • 鉛筆問題ができた子から、WEBラーニングに取り組む。


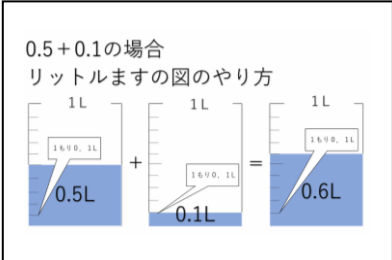

1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算 数	学年	2 年
単元名	たし算とひき算のかんけい		
ねらい	加法や減法の場面の数量の関係をテープ図や式に表して捉え、問題を解決することができる。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等		<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット ・スカイメニュー 	

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
<p>つかむ</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>つぎのばめんについて考えましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おり紙が10まいありました。今日8まいもらいました。ぜんぶで18まいになりました。</p> </div> </div> <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>図を見て、しきを考えよう。</p> </div> <p>3. 個人追究をする。 発表ノートのマス目を活用して、テープ図を書き、式を求めその考え方をノートに記入する。</p> <p>4. ペア交流を通して、考えを深める。 タブレットを見せ合い、ペンや線を活用して分かりやすく説明する。新しく考え方を見つけれたら、発表ノートをコピーして自分で作成する</p> <p>5. 全体交流をする。 スクリーンに投影し、児童の発表ノートを元に意見を交流する。</p> <p>6. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ぜんたいの大きさをもとめるときは、たし算になります。ぶぶんの大きさをもとめるときは、ひき算になります。</p> </div> <p>7. 鉛筆問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スカイメニュー内の発表ノートにマス目機能を使い、テープ図を作る。 ・ペンや直線機能を使って説明を工夫したり、戻る・元に戻す機能を使ってどう変わったかを明確にしたりする。 ・自分のタブレットだけでなく、スクリーン画面でペンを使って順序よく説明する。 <p>・鉛筆問題が終わった児童は、ミライシードで習熟を図る。</p>


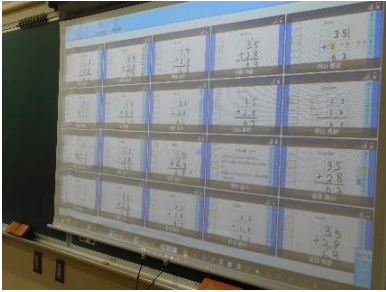
1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算 数	学年	3年
単元名	小数		
ねらい	小数第一位までの小数の加法の計算の意味や原理、方法を理解することを通して、小数の足し算の計算ができる。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等		スカイメニュー 自作のアニメーション (パワーポイント)	

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
つかむ	1. 問題を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 大型スクリーンに図を提示し、問題を把握しやすくする。 分からない子は、ヒントフォルダを活用する。(デジタルのアニメーション) プリントを1人に1人に配付し、直接式や言葉、図を書き込んで考える。 タブレットを示しながら自分の考えをペアに説明する。 大型画面で自分の考えを指し示しながら全体に説明する。
深める	ジュースが 0.5L 入っているパックと、0.3L 入っているパックがあります。1つのびんに入ると、何Lになりますか。	
	2. 課題をつかむ。	
	小数のたし算の計算のしかたを考えよう。	
	3. 個人追究をする。	
	  <p>0.5+0.1の場合 リットルますの図のやり方</p>	
	4. ペアで交流し、考えを広げる。	
5. 全体で交流をする。		
5		
まとめる	6. 学習のまとめをする。	
	小数のたし算は、0.1のいくつかを考えると計算することができます。	
	7. 評価問題に取り組む。	


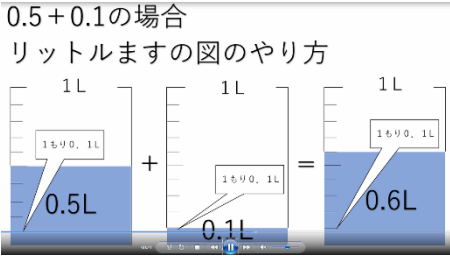

1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算数	学年	3年
単元名	小数		
ねらい	小数の構成や順序、系列、大小について理解するとともに、加法及び減法の計算の仕方を整数の計算の仕方をもとに考え、正しく計算することができる。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等	スカイメニュー、デジタル教科書		

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント																																																						
	<p>1 問題をつかむ。</p> <p>3.5 + 2.8 の計算のしかたを考えましょう。</p> <p>あおい <0.1 をもとにして考える> つばさ <位ごとに分けて考える></p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>3.5</td><td>は、</td><td>0.1</td><td>の</td><td>35</td><td>こ分</td></tr> <tr><td>2.8</td><td>は、</td><td>0.1</td><td>の</td><td>28</td><td>こ分</td></tr> <tr><td colspan="6">合わせて、0.1 の 63 に分</td></tr> <tr><td>0.1</td><td>の</td><td>63</td><td>に分は、</td><td>6.3</td><td></td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>3.5</td><td>→</td><td>3</td><td>と</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>2.8</td><td>→</td><td>2</td><td>と</td><td>0.8</td></tr> <tr><td colspan="5">合わせて 5 と 1.3</td></tr> <tr><td colspan="5">だから、6.3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> あおいは、0.1 をもとにして考えて、整数と同じように計算している。 つばさは、位ごとに分けて考えている。 小数のたし算も、筆算が使える。 <p>2 課題をつかむ</p> <p>小数のたし算を筆算で計算できるようにしよう。</p> <table style="text-align: center;"> <tr> <td>$\begin{array}{r} 3.5 \\ + 2.8 \\ \hline \end{array}$</td> <td>→</td> <td>$\begin{array}{r} 3.5 \\ + 2.8 \\ \hline 6.3 \end{array}$</td> <td>→</td> <td>$\begin{array}{r} 3.5 \\ + 2.8 \\ \hline 6.3 \end{array}$</td> </tr> </table> <p>① 位をそろえて書く、 ② 整数のたし算と同じように計算する、 ③ 上の小数点にそろえて、答えの小数点をうつ。</p> <p>3 3.5 + 2.8 の筆算の書き方・手順を確認する。</p> <p>4 ◆問題① 1 2.6 + 5.4、② 6.9 + 4 の筆算に取り組む。</p> <table style="text-align: center;"> <tr> <td>$\begin{array}{r} 2.6 \\ + 5.4 \\ \hline 8.0 \end{array}$</td> <td></td> <td>$\begin{array}{r} 6.9 \\ + 4 \\ \hline 7.3 \end{array}$</td> <td>→</td> <td>$\begin{array}{r} 6.9 \\ + 4 \\ \hline 10.9 \end{array}$</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ① 18.0 ではなく、「.0」を消して、答えには18と書くのだな。 ② 4は4.0のことで、一の位の数だから6の下に書かないといけな。位をそろえて書くことは大切だな。 <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>小数のたし算の筆算は、位をそろえて書けば、整数と同じように計算できる。</p> <p>6 練習問題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> P149 ② ①～⑥ <p>7 評価問題に取り組み、振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ②の類似問題と、振り返りをする。 <p>8 さらに練習問題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント プラスワン P243 ② (8問) web ラーニング・ミライシード 	3.5	は、	0.1	の	35	こ分	2.8	は、	0.1	の	28	こ分	合わせて、0.1 の 63 に分						0.1	の	63	に分は、	6.3		3.5	→	3	と	0.5	2.8	→	2	と	0.8	合わせて 5 と 1.3					だから、6.3					$\begin{array}{r} 3.5 \\ + 2.8 \\ \hline \end{array}$	→	$\begin{array}{r} 3.5 \\ + 2.8 \\ \hline 6.3 \end{array}$	→	$\begin{array}{r} 3.5 \\ + 2.8 \\ \hline 6.3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2.6 \\ + 5.4 \\ \hline 8.0 \end{array}$		$\begin{array}{r} 6.9 \\ + 4 \\ \hline 7.3 \end{array}$	→	$\begin{array}{r} 6.9 \\ + 4 \\ \hline 10.9 \end{array}$	<p>ICT 活用のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> □のところが空欄になっている発表ノートを配付し、二通りの考え方の空欄にあてはまる数や語句を確認する。(個人→ペア→全体) 発表ノートにマス目を用意し、何度も練習できるようにする。 視覚的に分かりやすくなるよう全員の解答を一画面で子どもたちのタブレットに移すようにし、共有できるようにする。  
3.5	は、	0.1	の	35	こ分																																																			
2.8	は、	0.1	の	28	こ分																																																			
合わせて、0.1 の 63 に分																																																								
0.1	の	63	に分は、	6.3																																																				
3.5	→	3	と	0.5																																																				
2.8	→	2	と	0.8																																																				
合わせて 5 と 1.3																																																								
だから、6.3																																																								
$\begin{array}{r} 3.5 \\ + 2.8 \\ \hline \end{array}$	→	$\begin{array}{r} 3.5 \\ + 2.8 \\ \hline 6.3 \end{array}$	→	$\begin{array}{r} 3.5 \\ + 2.8 \\ \hline 6.3 \end{array}$																																																				
$\begin{array}{r} 2.6 \\ + 5.4 \\ \hline 8.0 \end{array}$		$\begin{array}{r} 6.9 \\ + 4 \\ \hline 7.3 \end{array}$	→	$\begin{array}{r} 6.9 \\ + 4 \\ \hline 10.9 \end{array}$																																																				

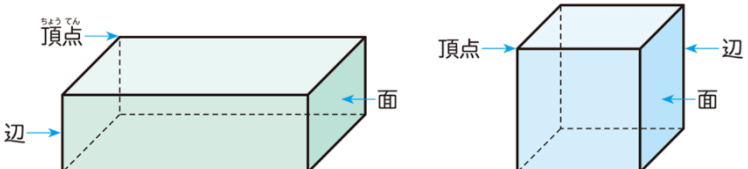
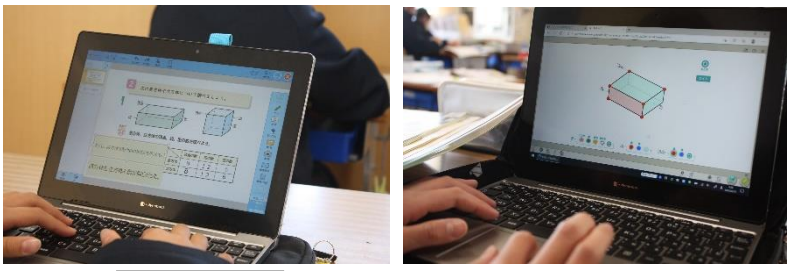
1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算数	学年	3年
単元名	小数		
ねらい	小数第一位までの小数の加法の計算の意味や原理、方法を理解し、計算できる。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等	スカイメニュー 自作のアニメーション (パワーポイント)		

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
つかむ	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ジュースが 0.5L 入っているパックと、0.3L 入っているパックがあります。1つのびんに入れると、何Lになりますか。 </div> <p>2. 課題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 小数のたし算の計算のしかたを考えよう。 </div> <p>3. 個人追究をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大型スクリーンに図を提示し、問題を把握しやすくする。
深める	<p>  </p> <div style="text-align: center;"> <p>0.5+0.1の場合 リットルますの図のやり方</p>  </div> <p>4. ペアで交流し、考えを広げる</p> <p>5. 全体で交流をする。</p> <p>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> 分らない子は、ヒントフォルダを活用する。(デジタルのアニメーション) 図を1人に1人に配付し、直接式や補助線を書き込んで考える。
まとめる	<p>6. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 小数のたし算は、0.1のいくつかを考えると計算することができる。 </div> <p>7. 鉛筆問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを示しながら自分の考えをペアに説明する。 鉛筆問題に取り組む。

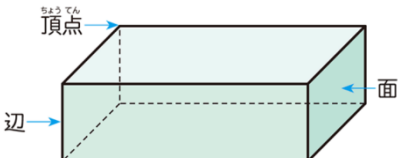
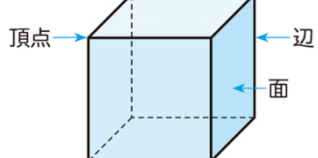

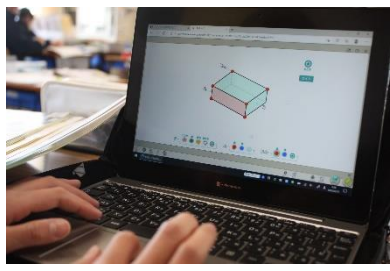
1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算数	学年	4年生
単元名	直方体と立方体		
ねらい	直方体や立方体の頂点, 辺, 面の数を調べることを通して、それぞれの立体の特徴を理解し、立式したり、式を読み取ったりして共通点や相違点をみつけることができる。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等	SKYmenu デジタル教科書		

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
つかむ	<p>1. それぞれの立体の共通点や相違点について、考える。</p>  <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>頂点, 辺, 面の数にはそれぞれどのような特徴があるのだろうか。</p> </div> <p>3. 個人追求をする。</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">Skymenu</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">ヒント：デジタル教科書にて図形を動かす。</div> </div> <p>4. ペアで交流し、考えを広げる。</p> <p>5. 全体で交流する。</p> <p>6. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>直方体も立方体も頂点の数は8こ、辺の数は12こ、面の数は6こである。 ただし、直方体の面の形や辺の長さが違う。</p> </div> <p>7. 鉛筆問題に取り組む。</p>	<p>・大型スクリーンに図を提示し、頂点, 辺, 面に着目すればよいことを理解させる。</p> <p>・頂点, 辺, 面の数を skymenu に記入して、立方体と直方体それぞれで、気付いたことをメモする。</p> <p>・デジタル教科書の直方体や立方体の図形に、頂点の数をチェックして数えたり、辺に色づけをして、本数を数えたりする。</p> <p>・タブレットを示しながら自分の考えをペアに説明する。</p> <p>・鉛筆問題→振り返りができた子から、WEB ラーニングに取り組む。</p>



1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算数	学年	4年生
単元名	直方体と立方体		
ねらい	直方体や立方体の頂点・辺・面の数を調べることを通して、それぞれの立体の特徴を理解し、立式したり、式を読み取ったりして共通点や相違点を見つけることができる。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等	SKYMENU（発表ノート）、デジタル教科書		

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
つかむ	<p>1. それぞれの立体の共通点や相違点について、考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 頂点・辺・面の数にはそれぞれどのような特徴があるのだろうか。 </div> <p>3. 個人追求をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">SKYMENU（発表ノート）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">デジタル教科書にて図形を動かす。</div> </div> <p>4. ペアで交流し、考えを広げる。</p> <p>5. 全体で交流する。</p> <p>6. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 直方体も立方体も頂点の数は8こ、辺の数は12こ、面の数は6こである。 ただし、直方体は、面の形や辺の長さが違う。 </div> <p>7. 鉛筆問題に取り組む。</p>	<p>・大型スクリーンに図を提示し、頂点、辺、面に着目すればよいことを理解させる。</p> <p>・頂点・辺・面の数を発表ノートに記入して、立方体と直方体それぞれで、気付いたことをメモする。</p> <p>・デジタル教科書の直方体や立方体の図形に、頂点の数をチェックして数えたり、辺に色づけをして、本数を数えたりする。</p> <p>・タブレットを示しながら自分の考えをペアの児童に説明する。</p> <p>・鉛筆問題、振り返りができた児童から、WEB ラーニングに取り組む。</p>

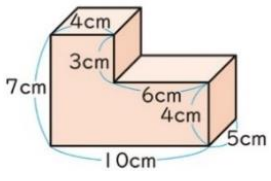


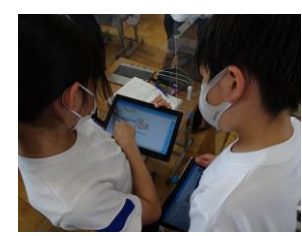
1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算数	学年	5年
単元名	図形の角の大きさ		
ねらい	多角形の内角の和について多角形に線を引くことを通して、三角形や四角形の内角の和をもとに考え、説明することができる。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等	発表ノート		

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
つかむ	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>次の図形について、角の大きさの和は何度になるか調べましょう。</p> </div> <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>多角形の角の大きさの和の求め方を考えよう。</p> </div> <p>3. 個人追究をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大型スクリーンに図を提示し、辺の数、頂点の数に着目し、多角形の定義を理解する。
深める	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>4. ペアで交流し、考えを広げる。</p> <p>5. 全体で交流をする。</p> <p>6. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どんな多角形でもいくつかの三角形や四角形に分けると、角の大きさの和を求めることができる。</p> </div> <p>7. 鉛筆問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表ノートを1人に1人に配付し、自分の考え方を書く。
まとめる		<ul style="list-style-type: none"> タブレットを示しながら自分の考えをペアの児童に説明する。 提出した発表ノートを児童の画面に投影し、共有する。 鉛筆問題、振り返りができた児童から、WEB ラーニングに取り組む。

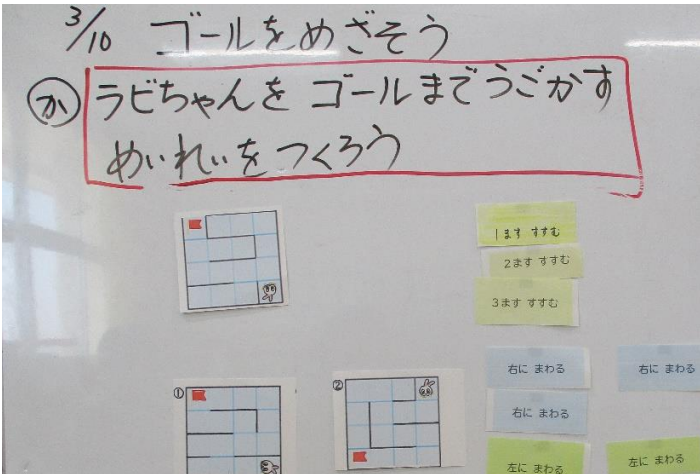
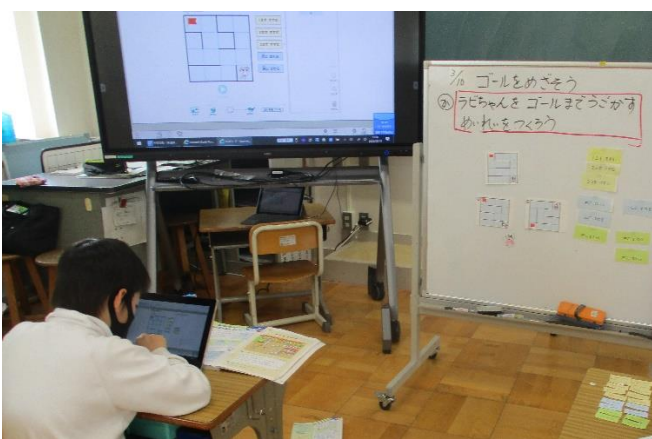
1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算 数	学年	5 年
単元名	体積		
ねらい	複合図形の体積を求めるには、複合図形を分けたり、補ったりして直方体を基に考えればよいことに気付き、複合図形の体積の求め方を説明することができる。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等	スカイメニュー 自作のアニメーション (パワーポイント)		

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
つかむ	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>右のような立体の体積を求めましょう。</p>  </div>	<ul style="list-style-type: none"> 大型スクリーンに図を提示し、問題を把握しやすくする。
深める	<p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>複雑な図形の体積の求め方を考えよう。</p> </div> <p>3. 個人追究をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="background-color: #f96; color: white; padding: 2px;">ヒント：図形を二つに分ける。 別々で体積を求める。</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 分からない子は、ヒントフォルダを活用する。(デジタルのアニメーション) 図を1人に1人に配付し、直接式や補助線を書き込んで考える。
まとめる	<p>4. ペアで交流し、考えを広げる。</p> <p>5. 全体で交流をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  </div> <p>6. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>複雑な図形の体積は、分けたり、補ったりして、直方体や立方体を基にして考えると、公式を使って体積を求めることができる。</p> </div> <p>7. 鉛筆問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを示しながら自分の考えをペアに説明する。 鉛筆問題ができた子から、WEBラーニングに取り組む。

1人1台端末の活用による実践事例

教科名	算数	学年	特別支援（1年）
単元名	ゴールをめざそう		
ねらい	目的を達成するために、命令をどのような順序で組み合わせればよいかを考えることができる。また、右や左についての理解を深める。		
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等	タブレット・デジタル教科書		

展開	主な学習活動	ICT 活用のポイント
<p>つかむ</p> <p>取り組む</p> <p>振り返る</p>	<p>1. ラビちゃんの動かし方を知り、課題を把握する。</p>  <p>2. 教科書P168の①の迷路を、命令カードをつなげてゴールさせる。</p> <p>3. タブレットを使って、教科書②の2つの迷路を自分で命令カードをつなげて動かし、ゴールできるか確かめる。</p>  <p>4. ゴールできたら、自分で迷路をつくる。</p> <p>5. 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「〇ますすすむ」「右にまわる」「左にまわる」の 3つのめいれいで ラビちゃんを うごかすことができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を大型テレビモニターで映し、「1ますすすむ」「右にまわる」「左にまわる」の命令カードを出したときのラビちゃんの動きを見せ、カードの組み合わせでラビちゃんを思ったところに動かせることを理解させる。 ・初めは教科書巻末のカードを使って並べ、ゴールできたか確かめ、みんなで答え合わせする。 ※自分のペースで挑戦できる。 右左があやふやな児童は何度もやり直しになる。進行方向を見て左右を決めるようアドバイスし間違いを見つけさせる ・左右の理解ができる児童は、発展的に迷路作りに挑戦する。 ・タブレット使用により、個々の理解度に合わせ迷路を作るところまでできたり、命令カードの種類を組み直しゴールさせたりと、各々達成感がある。